

MAITSURU PROJECT

INTERVIEW 01

令和7年度求職者向けコース受講

杉本 みどりさん

GOOD POINT

プロジェクトの良かったところ

- 過去の経験と結びつけてSAPのシステムへの理解を深められた
- 受講生同士の交流でさまざまなものの見方を学べた
- 自分の子育てや生き方に自信を持てるようになった



「自分の『楽しい』を大切に 家庭も仕事も諦めない働き方を」

過去の経験と講座の 学びが結びついて 理解が深まった

講座を受講したきっかけは、ハローワークで見つけたチラシでした。家に帰って家族に見せたところ、息子が「お母さんはパソコンができるんだから、そのスキルをもっと磨いて、やりたいうことに挑戦してみたら？」と背中を押してくれました。

確かに、私はPTAの役職や夫の仕事のサポートで以前からパソコンを使っていました。インターネットもダイヤルアップ時代から使っていたので、今回の講座の内容は比較的スムーズに取り組みました。

その中でも、学ぶことは多く、特に印象的だったのは、講座の内容と過去の業務経験が知識として整理され、より深く理解することができたことです。これまで製造業、農業、コンビニとさまざまな仕事をしてきましたが、業種は違っても発注から受



講座内容について語る杉本さん。

注、納品、請求という一連の流れは同じです。普段から頭の中で組み立てていたため、最初は難解に思えたSAP(企業の販売・在庫・会計などの管理を効率化するための基幹業務システム)も「コンビニで例えればこれ」「製造業だとあれ」と置き換えることでスムーズに理解することができました。

受講生同士の学び合いで 視野が広がり自信がついた

仲間との学び合いの大切さを実感できたのも、講座で得たことの一つです。ビジネスチャットツールでわからないこと・勉強の仕方などを受講生同士で情報交換したり、同じ悩みを共有したりすることでストレスが減りました。考え方や捉え方が違う人たちがさまざまな角度から意見を出し合うことが、課題解決につながるのだと思います。

勉強に行き詰まったとき、オンライン座談会を主催したこともありました。15分枠で休憩を挟みながら複数回、日常の立ち話のように気軽に会話できる場です。このような行動を起こせたのも、リモート学習を経験し、わからないことや自分の状況を説明する重要性を知ったからです。

また、講座のマイナード研修は、



講座を受講後、自分なりに資料をまとめ、理解を深めた。

自分が子どもたちに伝えてきたポジティブシンキングが間違っていたのかもしれないと再確認する機会になりました。一緒に映像教材を見ていた息子に「お母さんも、いつも同じこと言ってるよね」と言われ、自分の子育てや生き方を肯定できるようになったと思います。

家庭も仕事も大切に 自分らしい働き方を 目指して

将来的な親の介護や家族への対応があるため、通勤が必要なフルタイムの仕事ではなく、もっと柔軟に働ける仕事を見つければと思います。私はもともと家庭を大切にしたい気持ちが強いのので、どちらか一方に偏るのではなく、両方を大切にしながら楽しく働ける環境が理想です。仕事の選択肢を広げ、在宅でできる仕事も見つけやすくするために、今は簿記の資格取得も視野に入れていきます。

また、将来的には、高齢者向

けのパソコン教室を開きたいという夢もあります。新しいスキルを身につけて、年齢に関係なく時代をキャッチアップする楽しみを、幅広い世代に伝えていきたいです。

短期契約で経験を積み ステップアップを目指す

受講後、事務補助の仕事の採用が決まりました。週3〜4日勤務で、駅から徒歩圏内という通しやすい条件です。

また、契約期間が半年間という点も、この仕事を選んだ一つの決め手です。半年であれば、勤務先との相性や、自分の体調を見ながら働くことができます。契約終了後、半年間の経験を踏まえて、次にどうステップアップするかを考える時間も取れると思います。同じ場所で長く働くのもいいのですが、短期の仕事でいろいろな職場を経験しながら、自分に合った働き方を見つけていければと考えています。



オンライン講座などはパソコンとタブレットを駆使した。